

## 6-4 沖縄地方とその周辺の地震活動（1990年5月～1990年10月）

Seismic Activity in and around the Okinawa District (May, 1990 – October, 1990)

沖縄気象台

Okinawa Meteorological Observatory, JMA

1990年5月から1990年10月までの震央分布図を第1図、与那国島における地震回数を第2図に示す。また、第3、4図にはそれぞれ1990年5月～1990年7月、1990年8月～1990年10月の震央分布を示す。

この期間、管内の気象官署で有感となった地震は24個発生した。期間中の最大の震度は那覇、名護（5月18日08時28分・M5.8）、宮古島（7月4日11時24分・M5.5）および宮古島、石垣島（10月1日04時05分・M6.1）の震度Ⅲ、最も規模の大きい地震は奄美大島近海（6月16日13時53分）、台湾東方沖（7月17日04時14分）および、宮古島近海（10月1日04時05分）に発生したM6.1の地震である。

おもな地震活動は次のとおり。

5月：この期間、管内の有感地震は6回発生している。

1日09時22分、宮古島の北方沖にM3.4の地震（震度Ⅰ：宮古島）が発生した。同海域ではこの後、6日03時32分と9日16時11分にM3.3、M3.0の地震（いずれも震度Ⅰ：宮古島）が発生している。

14日23時09分、久米島の北東沖約50km付近にM4.2の地震（震度Ⅰ：久米島、那覇、名護）が発生した。

18日08時28分、名護の北西約15km付近に発生したM5.8の地震により那覇、名護で震度Ⅲ、久米島で震度Ⅰを観測した。この地震により沖縄電力発電所の保護装置が作動し、約2万世帯で短時間の停電があった。

21日00時02分、西表島の南西約35km付近にM3.6の地震（震度Ⅰ：石垣島、西表島）が発生している。この地震の北側では先月25日にM5.1の地震が発生し、西表島で震度Ⅳ、石垣島で震度Ⅲを観測した。

24日21時09分、奄美大島近海にM5.2の地震が発生し、名瀬で震度Ⅳを観測しているが管内は無感であった。

30日21時38分、宮古島の南東沖にM5.0の地震が発生した。

6月：この期間の有感地震は3回発生した。

1日07時04分、宮古島の北方沖にM3.6の地震（震度Ⅰ：宮古島）が発生した。

16日13時53分、奄美大島近海でM6.1の地震が発生し、名瀬、沖永良部でそれぞれ震度Ⅰを観測しているが管内は無感であった。この地震は地震資料伝送システム展開以来（1987年3月）最も規模の大きい地震である。

23日01時18分、名護の西方沖にM3.7の地震（震度Ⅰ：那覇、名護）が発生した。この地震は先月18日（08時28分）に観測された地震と同震源域に発生している。

30日16時45分、与那国島の南東約20km付近にM4.2の地震（震度Ⅰ：石垣島、西表島）が発生した。震央域に最も近い与那国島では有感でなかった。与那国島では今年に入ってまだ有感地震は観測されていない。

7月：この期間、管内で有感となった地震は5回発生した。

4日11時24分、宮古島の北西沖に発生したM5.5の地震より石垣島で震度Ⅲ、西表島で震度Ⅱ、宮古島で震度Ⅰを観測した。この付近での有感地震は1989年11月5日（M3.8）以来である。なお、石垣島では今年に入って2回目の震度Ⅲを観測した。

17日04時14分には台湾東方沖にM6.1の地震が発生している。この地震は先月16日13時53分、奄美大島近海に発生した地震とおなじ規模で、全期間をとおして規模の最も大きい地震である。

28日18時12分、那覇の西約20km付近に発生したM3.5の地震（震度Ⅱ：那覇、Ⅰ：久米島）が発生した。その後、ほぼ同じ場所で同日08時26分、10時16分および20時13分に発生したM3.5、M3.2、M2.9の地震により、それぞれ那覇で震度Ⅰを観測した。

30日10時13分、奄美大島近海にM5.2の地震（震度Ⅲ：屋久島、Ⅱ：名瀬）が発生したが管内では無感であった。

8月：この期間、管内で有感となった地震は1回発生した。

4日17時31分、沖縄トラフでM5.0、深さ209kmの地震が発生している。

19日08時25分、名護の北西約45km付近にM3.9の地震（震度Ⅰ：那覇）が発生した。この地震の震央付近では5月18日にM5.8の地震が発生し那覇、名護で震度Ⅲ、久米島で震度Ⅰを観測している。

9月：この期間には5回の有感地震が発生している。

10日19時08分、宮古島の北西沖にM3.9の地震（震度Ⅱ：宮古島）が発生した。この地震の震央付近には29日20時37分にもM3.8の地震（震度Ⅰ：宮古島）が発生した。

15日11時44分、石垣島の北方沖にM4.7の地震（震度Ⅰ：宮古島）が発生した。この地震の震源の深さは116kmで震央に近い石垣島、西表島では無感であった。

18日06時26分、宮古島の南東沖約25km付近にM3.7の地震（震度Ⅱ：宮古島）が発生した。この震央付近での有感地震は1988年7月15日以来である。

23日12時43分、久米島の北東約30km付近にM3.1の地震（震度Ⅰ：久米島）が発生した。

10月：この期間、管内の有感地震は4個発生した。

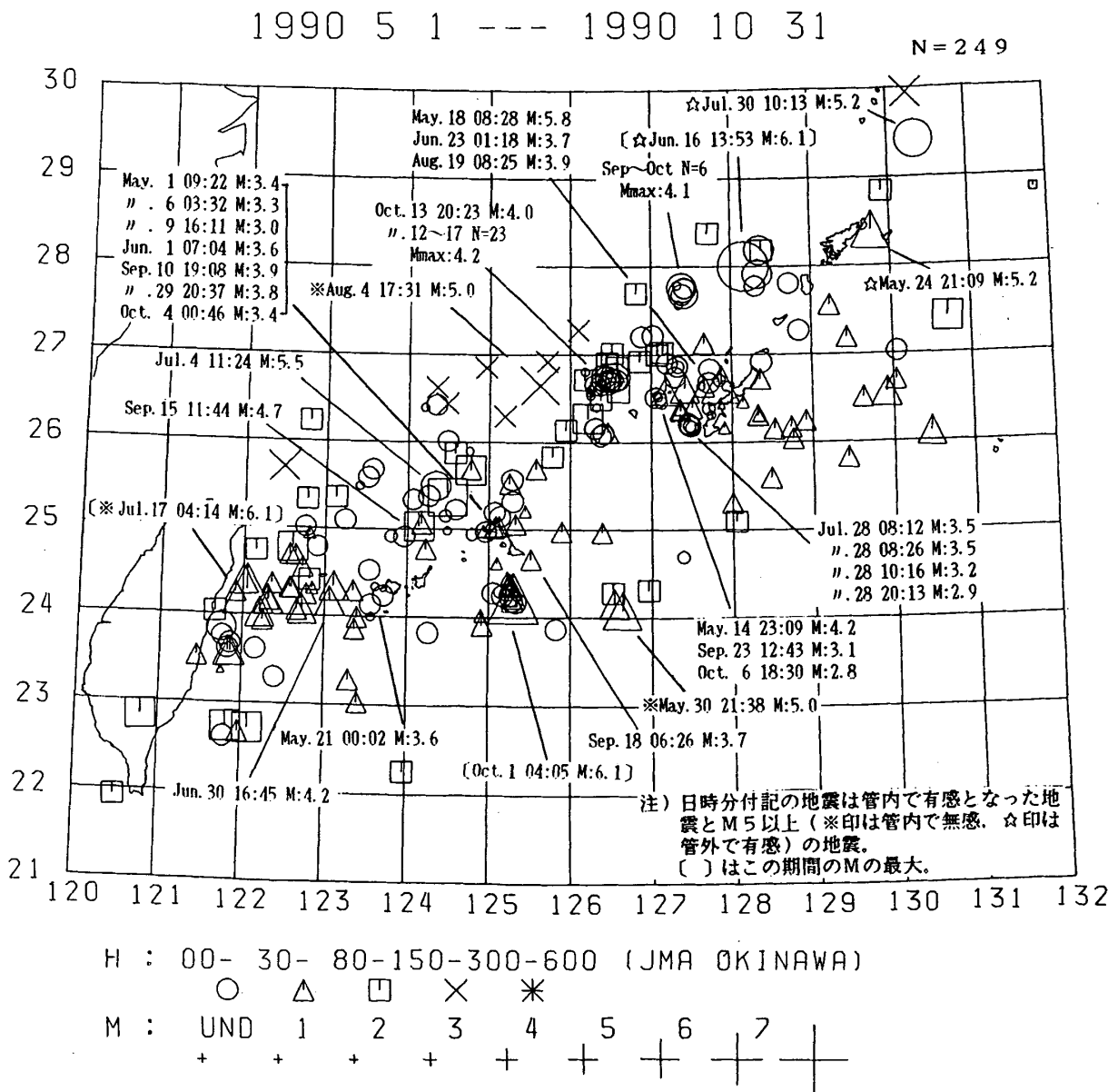
1日04時05分、宮古島の南方沖に発生したM6.1の地震により宮古島、石垣島で震度Ⅲを観測した。この地震を契機に同震央域では活発な地震活動があり、同日22時頃までに33個の地震（宮古島の短周期地震計（1000倍）、S-P時間から推定）が観測され、3個の地震を震源決定した。

4日00時46分、宮古島の北西沖にM3.4の地震（震度Ⅰ：宮古島）が発生した。この付近では期間中、この地震を含め、7個の有感地震が観測されている。

6日18時30分、久米島の北東約25km付近にM2.8の地震（震度Ⅱ：久米島）が発生した。この地震は9月23日12時43分に発生した地震（M3.1）とほぼ同じ場所に発生している。

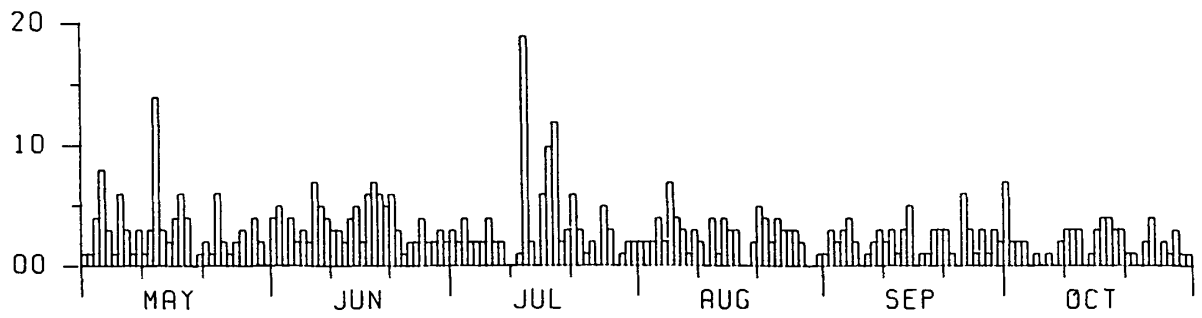
12日20時08分、久米島の北西約60km付近にM3.5の地震（無感）が発生した。この地震を皮切りに同海域では小規模な群発活動が始まり、17日17時までに56個の地震（久米島の短周期地震計（1000倍）のS-P時間から推定）が観測され、23個の地震（Mmax：4.2）を震源決定した。そのうち有感となった地震は、13日20時23分のM4.0の地震で久米島で震度Iを観測した。この付近では、1980年2～3月に群発地震（Mmax：6.7）が起こっている。

沖縄本島の北西沖には9月上旬から10月中旬にかけて狭い範囲に6個の地震（Mmax：4.1）が震源決定されている。



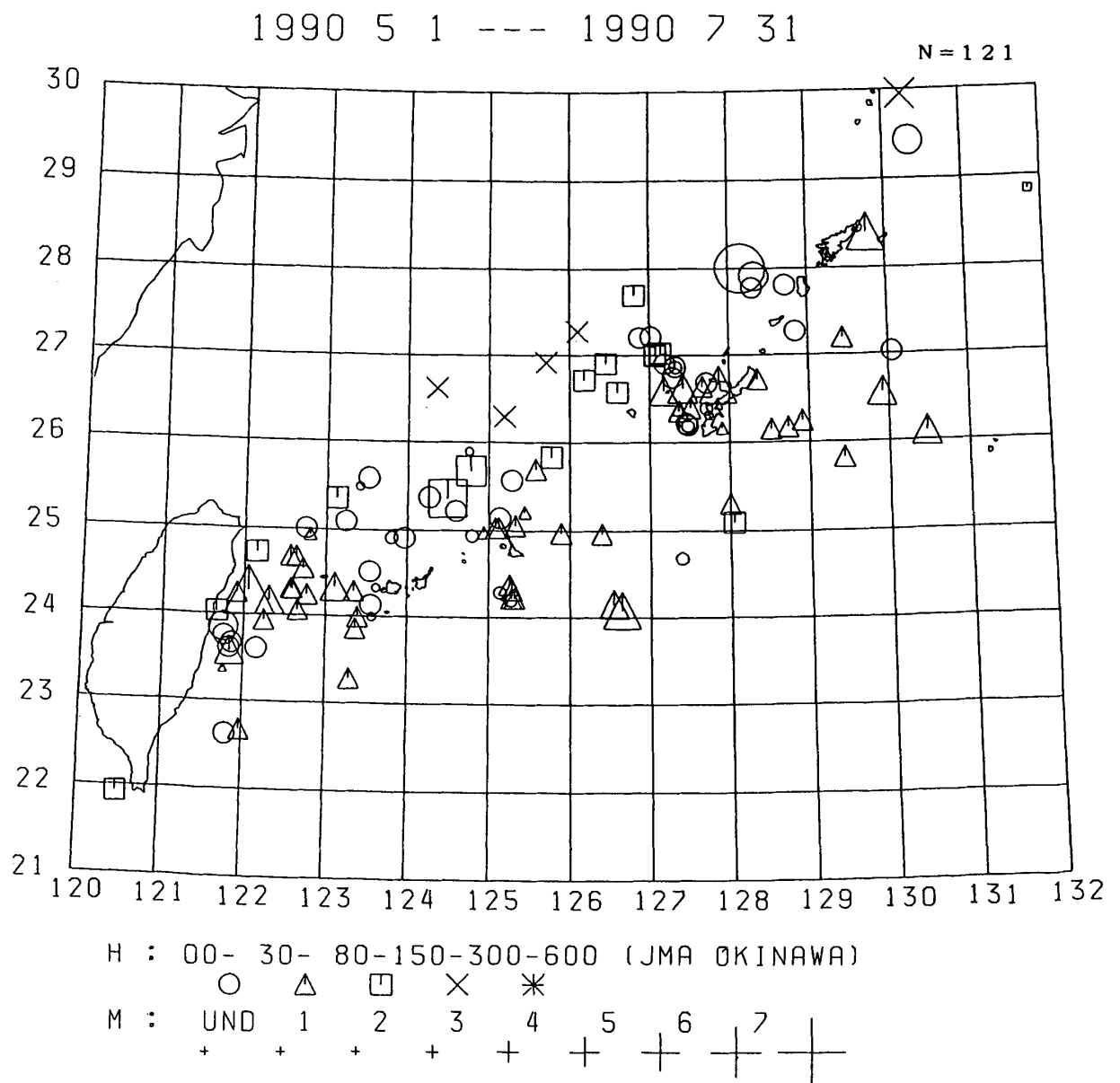
第1図 震央分布（1990年5月～1990年10月）

Fig. 1 Epicentral distribution (May, 1990 - October, 1990).



第2図 与那国島における日別地震回数 (1990年5月~1990年10月)

Fig. 2 Daily number of earthquakes observed at Yonagunijima Island.

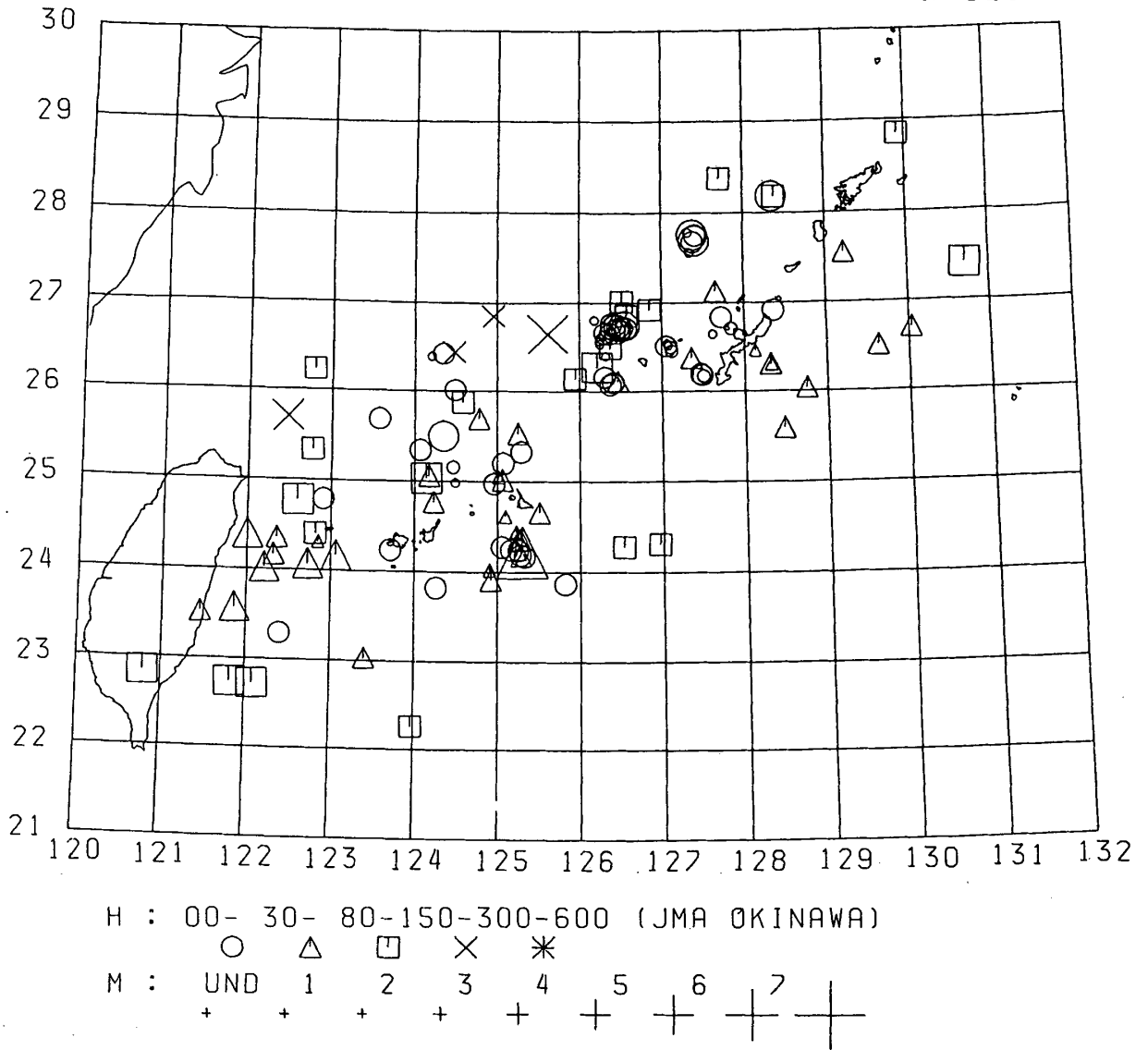


第3図 震央分布 (1990年5月~1990年7月)

Fig. 3 Epicentral distribution (May, 1990 - July, 1990).

1990 8 1 --- 1990 10 31

N=128



第4図 震央分布 (1990年8月~1990年10月)

Fig. 4 Epicentral distribution (August, 1990 - October, 1990).